J

CTK-240

取扱説明書（保証書別添）

本機をご使用になる前に必ず本書の
「安全上のご注意」をお読みください。
この取扱説明書は、お読みになったあとも、
保証書とともに、大切に保管してください。

CTK240JA1C

CASIO

● 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
● 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
● 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
● 本書のイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
● 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

■JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

このマークはEU諸国における
リサイクル規制のマークです。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

本機やACアダプターを、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

⚠ 警 告

ACアダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 必ず本機指定のACアダプターを使用する
  - 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する
  - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 重いものを乗せたり、加熱しない
  - 加工したり、無理に曲げない
  - ねじったり、引っ張ったりしない
  - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

⚠ 警 告

- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプターは液体※1のかからない状態で使用してください。液体がかかると火災・感電の原因となります。
- 外出時は、動物・ペットが製品に近づけないようにして、ACアダプターはコンセントから抜いてください。ペットが電源コードに噛み付くと、ショート（短絡）による火災の原因となります。
- 雷が鳴り始めたらACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

⚠ 警　告

液体※1、異物は避ける

液体、異物（金属片、鉛筆など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. AC アダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解･改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時はプラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

⚠ 警　告

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。
窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機やスタンド※2に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

⚠ 注　意

AC アダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災･感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
  - 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
  - プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
    （必ずACアダプター本体を持って抜く）

⚠ 注　意

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する。
- 電源コード（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

移動させるときは

移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、その他の外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注　意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

コネクター部への接続

コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙があたるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

⚠ 注　意

表示画面について

- 表示画面の液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

⚠ 注　意

音量について

大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

スタンド※2は正しく組み立てる

スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ててください。また、本機はスタンドに正しく設置してご使用ください。

※ 1 水やスポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など
※ 2 スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。

主な特長

本機は次のような特長を備えたキーボードです。

■ 100 音色で演奏できます。（100 音色） ☞17ページ

オーケストラ楽器やシンセサウンドなど、本体で 100 種類の音色が楽しめます。

■ 100 種類のリズムに合わせて演奏できます。（100 リズム） ☞19ページ

ロックやポップス、ジャズなど 100 種類のリズムを備えています。

■ 一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。（自動伴奏機能） ☞21 ページ

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。

■ 50曲の自動演奏曲を鳴らして楽しむことができます。（ソングバンク機能） ☞25ページ

「喜びの歌」や「ジングル・ベル」など、50 曲の自動演奏曲を内蔵しています。曲を聴いたり、曲のメロディーを消して、その部分を自分で弾いたりすることができます。

目次

安全上のご注意 1

主な特長 6

各部の名称 8

すぐ使いたい方に（ソングバンク機能早わかりガイド） 11

自動演奏曲を聴いてみましょう 11

電源について 13

家庭用100V 電源を使うには 13
電池を使うには 14
オートパワーオフ機能 15
電源と設定内容について 15

接続するには 16

ヘッドホン／アウトプット端子について 16
付属品・別売品について 16

基本的な操作 17

音を出してみましょう 17
音色を選ぶには 17

自動伴奏を鳴らしてみましょう ... 19

リズムを選ぶには 19
リズムを鳴らすには 20
テンポを調節するには 20
コード自動伴奏を鳴らすには 21
フィルインを入れるには 23
伴奏とリズムを同時にスタートさせるには 23
伴奏の音量を変えるには 24

自動演奏曲を楽しんでみましょう 25

まず、曲を聴いてみましょう 25
液晶表示の見方について 26
曲のテンポを変えるには 26
メロディーの音色を変えるには 27
曲の一部を消して、自分で弾くには 27
拍手歓声について 28
自動演奏曲を全曲続けて聴くには 28

設定を変えるには 29

トランスポーズ機能を利用するには 29
チューニング機能を使うには 29

困ったときは 30

製品仕様 32

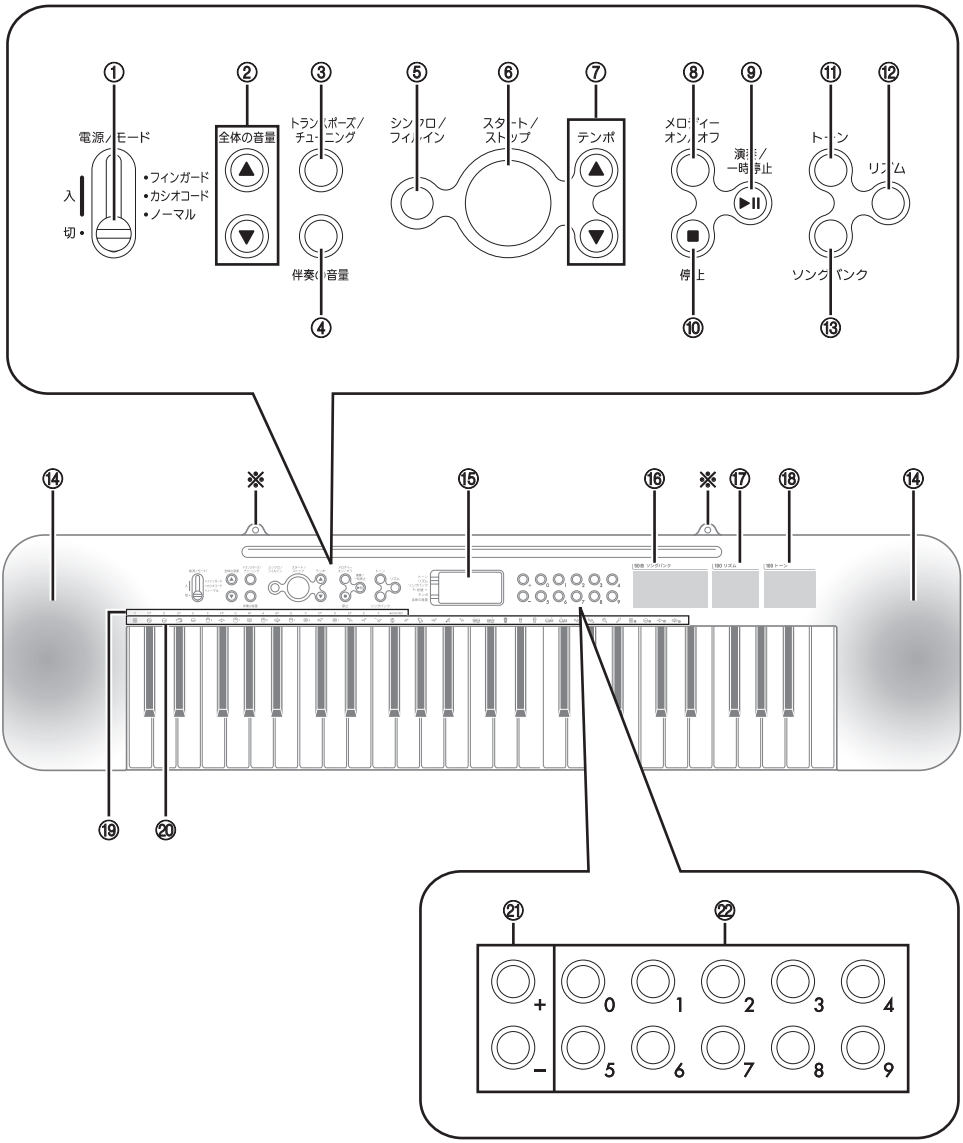
ご使用上の注意 33

保証・アフターサービスについて 34

資料 35

音色別発音域表 35
トーンリスト 37
リズムリスト 38
フィンガードコード一覧表 39
ドラム音色リスト 41
ソングリスト 42

各部の名称


①
②
③
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑪
⑫
電源／モード
入
切
•フィンガード
•カシオコード
•ノーマル
全体の音量
トランスポーズ／チューニング
シンクロ／フィルイン
スタート／ストップ
テンポ
メロディーオン／オフ
演奏／一時停止
トーン
リズム
④
伴奏の音量
⑩
停止
⑬
ソングバンク
⑭
※
⑮
⑯
※
⑰
⑱
⑭
⑲
⑳
⑳
⑳

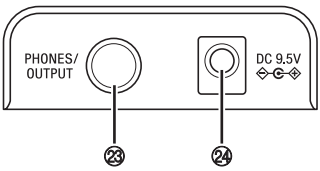
① 電源／モードスイッチ☞11, 13, 17, 21
② 全体の音量ボタン☞11, 17
③ トランスポーズ／チューニングボタン☞29
④ 伴奏の音量ボタン☞24
⑤ シンクロ／フィルインボタン☞23
⑥ スタート／ストップボタン☞21, 23
⑦ テンポボタン☞20, 26

● ソングバンクコントローラー
⑧ メロディー オン／オフボタン☞27, 28
⑨ 演奏／一時停止ボタン☞11, 25, 28
⑩ 停止ボタン☞12, 25

⑪ トーンボタン☞17, 27
⑫ リズムボタン☞19
⑬ ソングバンクボタン☞11, 25
⑭ スピーカー
⑮ 液晶表示部☞10
⑯ ソングバンクリスト☞11, 25
⑰ リズムリスト☞19
⑱ トーンリスト☞17
⑲ コード名☞21
⑳ 打楽器イラスト☞18, 41
㉑ ＋／－ボタン☞17, 19, 24, 29
- 負の数は＋／－ボタンでのみ指定できます。

㉒ 数字ボタン☞11, 17, 19, 24, 25
- 表示中の番号や数値を変更するときに押します。

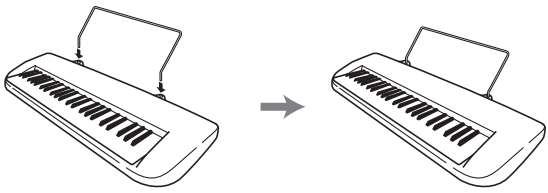
【背面図】



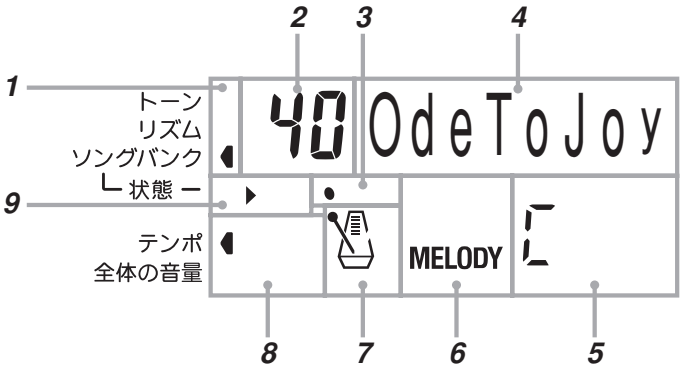
㉓ ヘッドホン／アウトプット端子☞16
㉔ 電源端子(DC 9.5V)☞13

※譜面立ての立て方

譜面立ては、本体の上面にある２つの穴にその両端を差し込んでお使いください。



液晶表示の見方

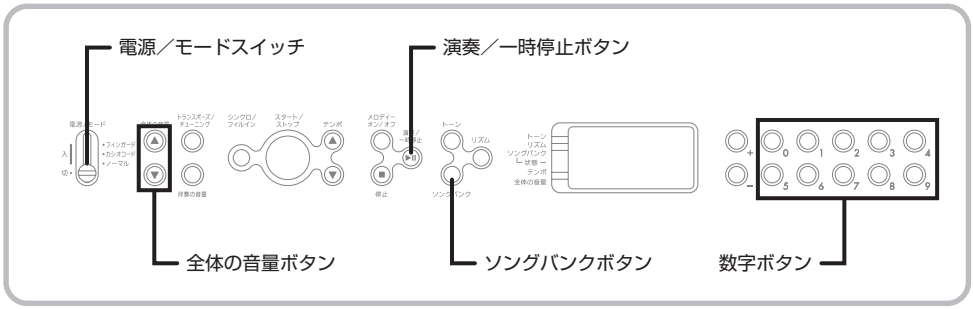


1. 音色（トーン）／リズム／曲（ソングバンク）の設定をするときに、対応するドットが点灯します。
2. 音色番号、リズム番号、曲番号、設定値などを表示します。
3. リズムや自動伴奏、ソングバンクの拍数に応じてドットを表示します。
4. 音色名、リズム名、曲名、モード名、設定項目名などを表示します。
5. 自動伴奏、ソングバンク機能でコードネームを表示します。
6. ソングバンク演奏時にメロディーのオン／オフを表示します。
7. リズムや自動伴奏、ソングバンク使用時に拍数に応じてメトロノームを表示します。
8. リズムや自動伴奏、ソングバンクのテンポ値を表示します。また、音量の表示もします。
9. ソングバンクコントローラーの操作状況を表示します。

NOTE

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは必ずしも本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

すぐ使いたい方に（ソングバンク機能早わかりガイド）



本機には、50 曲の自動演奏曲（ソング）が内蔵されています。これらの曲を聴いたり、メロディーパートの音を消して、そのパートを自分で鍵盤を弾いて練習することができます。25 ページ「自動演奏曲を楽しんでみましょう」を参照してください。

自動演奏曲を聴いてみましょう

操作手順

1 電源／モードスイッチを “ノーマル” の位置に合わせます。

2 全体の音量ボタンで音量を小さめに調節します。

3 ソングバンクボタンを押しソングバンクモードにします。

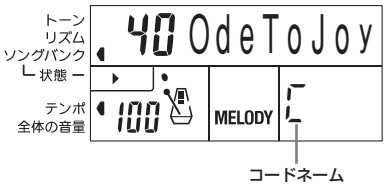
4 ソングバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号（2 桁）を押します。

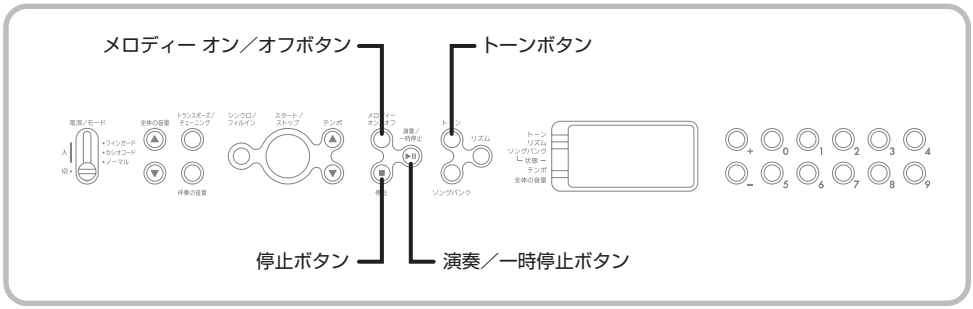
例：“40 喜びの歌 (ODE TO JOY)” の場合は、“4→0” の順番に押します。

- 本体上のソングバンクリストでは、曲名が省略されています。巻末の「ソングリスト」（42 ページ）に全曲が記載されています。

5 演奏／一時停止ボタンを押し、曲を聴いてみましょう。

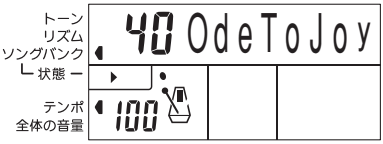
- 選んだ曲が繰り返し自動演奏されます。





6 メロディー オン／オフボタンを押し、曲のメロディーを弾いてみましょう。

- メロディーが消え、伴奏のみが鳴ります。



7 もう一度メロディー　オン／オフボタンを押すと、メロディーが発音します。

8 停止ボタンを押し、自動演奏を止めます。

9 トーンボタンを押し、ソングバンクモードを解除します。音色やリズムを選べる状態に戻ります。

NOTE

- 自動演奏中に下記の操作ができます。
  - 一時停止……演奏／一時停止ボタンを押す

電源について

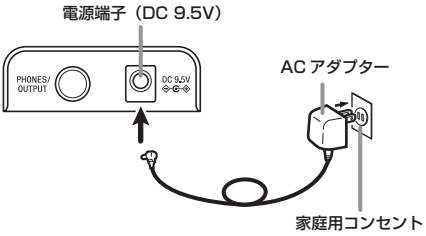
家庭用 100V 電源、または乾電池がご使用になれます。

重要

- **必ず本書の「安全上のご注意」を守って正しくお使いください。**
  誤った使い方をすると感電や火災の危険があります。
- **ＡＣ アダプターの抜き差しや乾電池の出し入れを行う前に、必ず本機の電源をお切りください。**

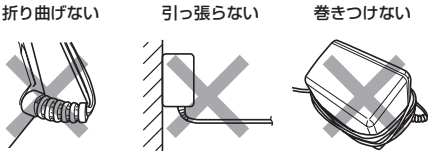
家庭用 100V 電源を使うには

付属の AC アダプター **AD-E95100LJ**（JEITA 規格・極性統一型プラグ付き）を使用してください。他のACアダプターを使用すると故障の原因になることがあります。



重要

- **長時間ご使用になりますと AC アダプターが若干熱をもちますが、故障ではありません。**
- **断線防止のため、コードになるべく負荷がかからないようご注意ください。**



- **付属の AC アダプターを、本機以外の製品に使用しないでください。故障の原因になります。**

電池を使うには

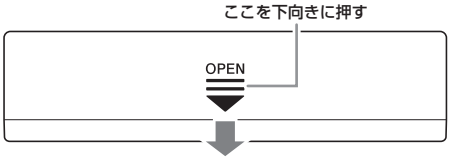
単３形乾電池６本をご使用ください。

- アルカリ乾電池またはマンガン乾電池をお使いください。
  オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は、絶対に使用しないでください。

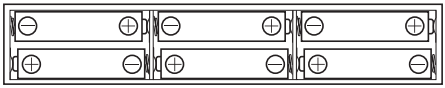
本機底面の電池ブタを開けて、電池を入れて、電池ブタを閉めます。

- 乾電池の ⊕⊖ の向きを間違えないように入れてください。

電池ブタの開け方



電池の入れ方



電池について

● 電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。
- 約 6 時間（マンガン乾電池使用時）※

※常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

● **下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。**
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。

オートパワーオフ機能

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約６分で自動的に電源が切れます。この場合、一度電源／モードスイッチを“切”の位置にしてから、“ノーマル”、“カシオコード”または“フィンガード”に合わせれば、再び電源が入ります。

オートパワーオフ機能をキャンセルするには

トーンボタンを押したまま、電源を入れます。

NOTE

- このときは、放置しておいても電源が切れることはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- 電源を入れ直すとオートパワーオフ機能が働くようになります。

電源と設定内容について

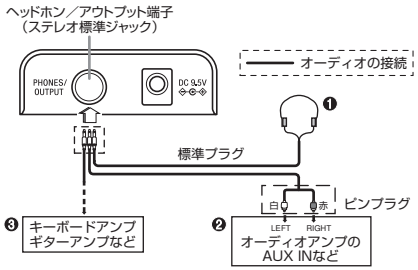
本機では、電源／モードスイッチの操作やオートパワーオフ機能の働きで電源が切れた後はすべての設定内容は初期状態に戻ります。

接続するには

ヘッドホン／アウトプット端子について

接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）小さめにしておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】



● ヘッドホンをつなぐには（図 ❶）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

● オーディオ機器と接続するには（図 ❷）

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。通常はオーディオ機器側のインプットセレクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

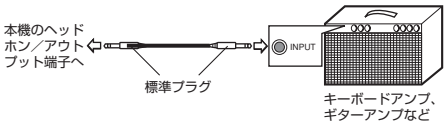
● 楽器用アンプと接続するには（図 ❸）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード※を使用します。

※ 本機につなぐ側　：標準プラグのもの
　アンプにつなぐ側：標準プラグのもの

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

【接続例】

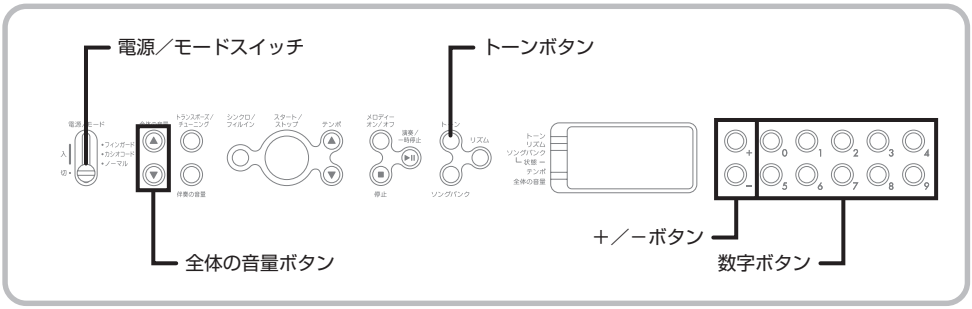


付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

● 付属品の一覧と、別売品のご案内については 32 ページをご参照ください。

基本的な操作



ここでは本機の基本操作について説明します。

音を出してみましょう

操作手順

1 電源／モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。

2 全体の音量ボタンで音量を小さめに調節します。

- 弾く前は、音量を小さめに設定しておきます。
- 全体の音量ボタンの▲または▼を押すと、現在設定されている音量が画面上に表示されます。もう一度▲または▼を押すと、設定が変更されます。

3 鍵盤を弾いてみましょう。

- 表示されている音色が鳴ります。

音色を選ぶには

本機には 100 種類の音色が内蔵されています。ここで、どんな音色が入っているのかを試してみましょう。

操作手順

1 トーンリストから鳴らしたい音色を選び、その番号を確認します。

- 本体上のトーンリストでは、音色名が省略されています。巻末の「トーンリスト」（37ページ）に全音色が記載されています。

2 トーンボタンを押します。

3 数字ボタンを使って、番号（2桁）を入力します。

例：“26 ウッドベース (WOOD BASS)”なら、“2→6”と入力します。

- ウッドベースの音色で鍵盤演奏できます。

NOTE

- 音色は、必ず２桁で指定してください（例：03 = 0→3）。
  1 桁目の入力後、何も入力しないと、数秒後に元の音色番号表示に戻ります。
- ＋／－ボタンで音色番号を1つずつ切り替えて呼び出すこともできます。
- 効果音の音色では、鍵盤を押したままにすると効果的な使い方ができます（例：“77 乗り物（VEHICLE)”）。

組み合わせの音色について

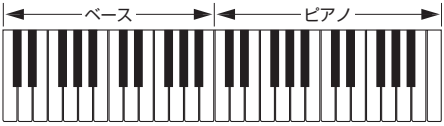
組み合わせの音色には２種類あります。

●２つの音が混ざった音色（音色番号：80～89）

（例）“80 ストリングスピアノ(STR PIANO)”
ストリングスの音とピアノの音が混ざった音色です。

●鍵盤上に複数の異なる音が割り当てられる音色（音色番号：90～96）

（例）“90 ベース／ピアノ(BASS / PIANO)”
鍵盤上にベースの音とピアノの音がそれぞれ割り当てられています。



●打楽器の音色

（例）“99 パーカッション(PERCUSSION)”
各鍵盤に異なる打楽器音が割り当てられています（41 ページ「ドラム音色リスト」参照）。

●効果音の音色（音色番号：77～79）

（例）“78 テレホン(PHONE)”
オクターブごとに違う効果（プッシュ音１・２、呼び出し音１・２）が鳴らせます。

同時発音数について

本機は、同時に最大12音まで発音します。ただし、一部の音色では2種類の音色を組み合わせているため最大６音になるものもあります。

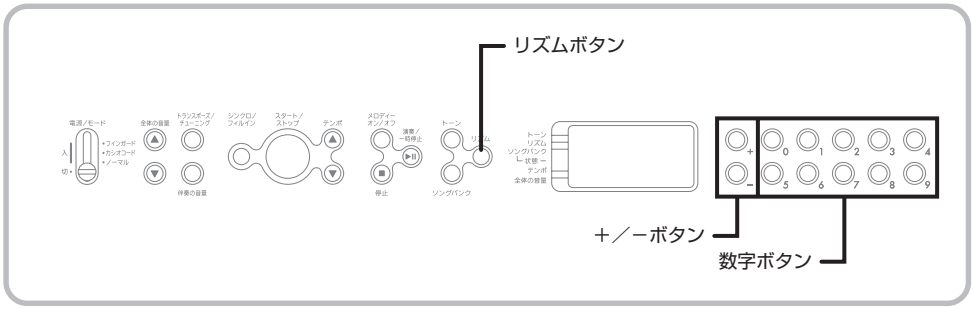
NOTE

- リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

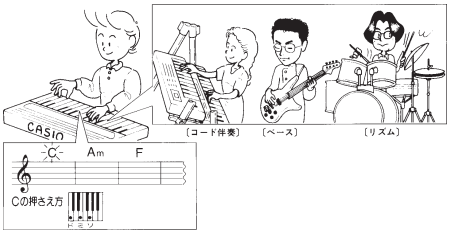
デジタルサンプリングの音色について

本機で鳴らすことのできる音色のいくつかは、「デジタルサンプリング」という電子技術により、生の楽器の音を録音・加工したものです。こうした音色の中には、元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げたものがあります。
一部の音色で、鍵盤によって音質や音量が若干異なる箇所がありますが、これは上記のようなサンプリング処理における音域の境目（スプリットポイント）で、故障ではありません。

自動伴奏を鳴らしてみましょう



本機では曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート（低音部）とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム（打楽器音）と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気に合った音色が鳴ります。
これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



リズムを選ぶには

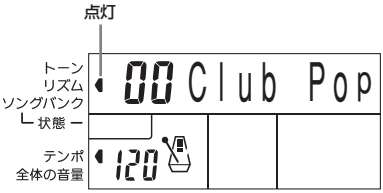
本機にはロック、ポップス、ジャズなど、100種類のリズムが搭載されています。

操作手順

1 リズムリストから鳴らしたいリズムを選び、その番号を確認します。

- 本体上のリズムリストでは、リズム名が省略されています。巻末の「リズムリスト」（38ページ）に全リズムが記載されています。

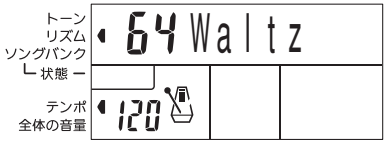
2 リズムボタンを押します。



3 数字ボタンで、リズムの番号（2桁）を入力します。

例：“64 ワルツ 1 (WALTZ)”なら“6→4”と入力します。

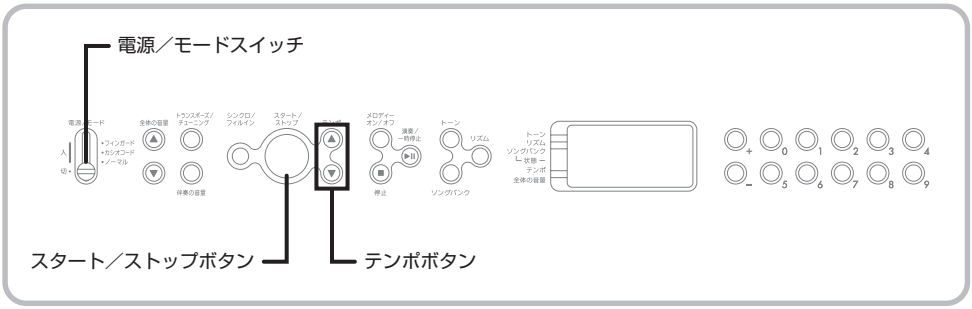
- “64 ワルツ 1 (WALTZ)”のリズムが選ばれます。



NOTE

- 電源を入れたときは“00 クラブ ポップ (CLUB POP)”のリズムが選ばれています。
- リズム番号は、+/−ボタンでも指定できます。

自動伴奏を鳴らしてみましょう



リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

操作手順

1. 電源／モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
2. スタート／ストップボタンを押して、選んだリズムをスタートさせます。
3. スタート／ストップボタンを押すと停止します。

NOTE

- 電源／モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。

テンポを調節するには

テンポ（1分間に演奏される拍数）を20 ～ 255の範囲で調節します。テンポの設定は、コード自動伴奏、ソングバンク機能に対して有効です。

操作手順

テンポボタンを押します。

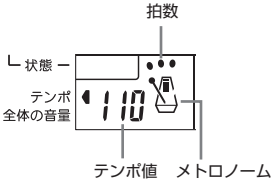
▲……数値が増える（速くなる）
▼……数値が減る（遅くなる）
例：画面上のテンポの数値が110になるまで、▲または▼ボタンを押し続けます。

NOTE

- テンポボタン（▲／▼）を同時に押すと、現在指定されているリズムのおすすめのテンポになります。

メトロノーム表示について

リズムや自動演奏曲のテンポ値、拍数、とともにメトロノームを表示しますのでテンポに合わせて演奏の練習ができます。

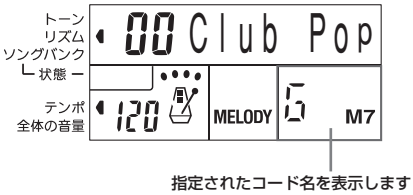


コード自動伴奏を鳴らすには

ここでは、自動伴奏機能の使い方について説明します。準備として、最初にお好きなリズムを選び、テンポを調節しておきましょう。

操作手順

1. **電源／モードスイッチを“カシオコード”“フィンガード”のいずれかに合わせ、モードを設定します。**
2. **スタート／ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。**
3. **伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。**
   - コードの具体的な指定方法については、モードスイッチの設定に応じて、
     「カシオコードについて」…21 ページ
     「フィンガードについて」…22 ページ
     をご参考ください。

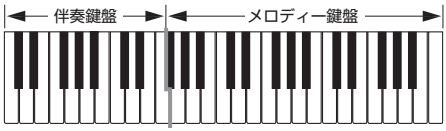


4. **スタート／ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。**

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により４種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- **カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。**

【コードの種類】

カシオコードでは最小限の指使いで以下の４種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を１つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、１オクターブ違う同音でもかまいません)。	C (C メジャー) 音名
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を１つ押します。	Cm (C マイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を２つ押します。	C7 (C セブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を３つ押します。	Cm7 (C マイナーセブンス)

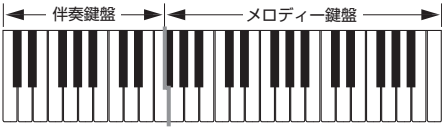
NOTE

- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

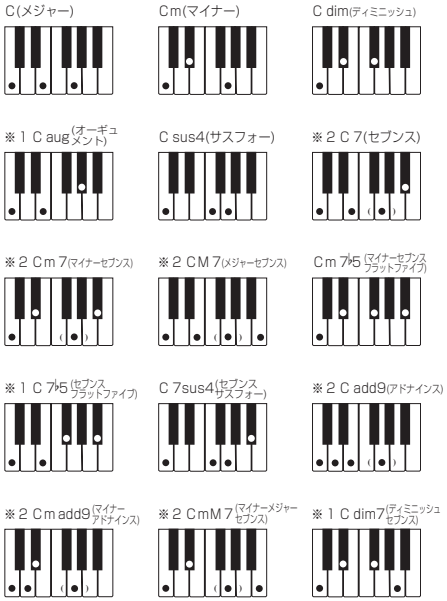
この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法（“C”を根音とした場合）は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- **フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。**



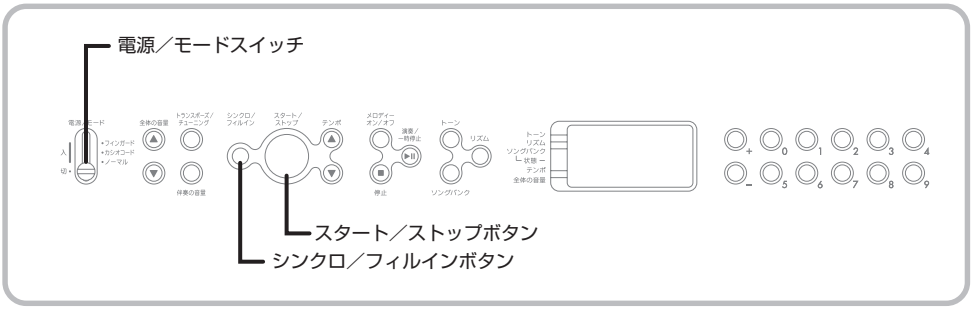
根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります（39ページ「フィンガードコード一覧表」参照）。

※1：転回形（下のNOTEを参照）は使えません。最低音が根音となります。

※2：5度のソの音を押さえなくても、同じコードが指定できます。

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方（例えばCを「ドミソ」と押さえる）だけでなく、転回形（コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる）も有効です。
  ･･･※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
  ･･･※2のコードを除く。



フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

操作手順

1. スタート／ストップボタンを押してリズムを鳴らします。
2. シンクロ／フィルインボタンを押すと、リズムにフィルインが入ります。

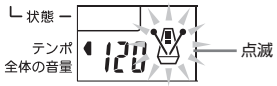
伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせる方法です。

ここでは、シンクロスタートの使い方を説明します。まず始めにお好みのリズムを選び、テンポを調節しておきましょう。次に、電源／モードスイッチでモード（カシオコードまたはフィンガード）を設定します。

操作手順

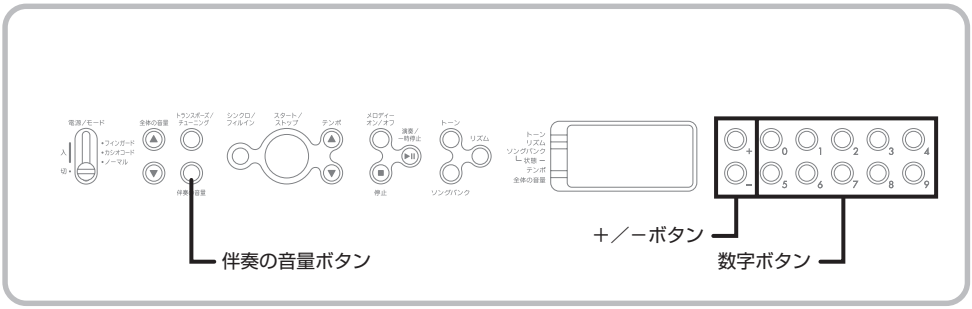
1. シンクロ／フィルインボタンを押してシンクロスタートの待機状態にします。



2. 伴奏鍵盤でコードを指定すると、リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

NOTE

- 電源／モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、鍵盤を押すことでリズムがスタートします（コード伴奏は鳴りません）。
- シンクロスタートの待機状態のときに、もう一度シンクロ／フィルインボタンを押すと待機状態が解除されます。



伴奏の音量を変えるには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。伴奏の音量の範囲は、最小“0”～最大“9”です。

1 伴奏の音量ボタンを押します。

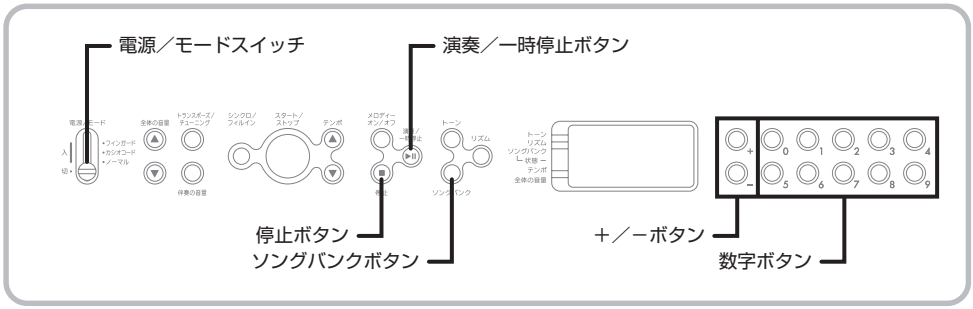
2 ＋／－ボタンまたは数字ボタンで伴奏の音量を指定します。

例：5

NOTE

- 操作１の後、表示は５秒で元に戻ります。
- 操作２で＋と－ボタンを同時に押したときは、“7”になります。

自動演奏曲を楽しんでみましょう



本機は50種類の自動演奏曲（ソング）を内蔵しています。お好きな曲を聴いたり、メロディーを消して自分で弾くことができます。

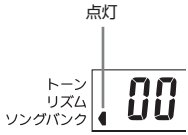
まず、曲を聴いてみましょう

操作手順

1 電源／モードスイッチを“ノーマル”、“フィンガード”、“カシオコード”のいずれかに合わせます。

2 全体の音量、伴奏の音量をそれぞれ調節します。

3 ソングバンクボタンを押して、ソングバンクモードにします。



4 ソングバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号（2桁）を入力します。

例：“31 アロハ・オエ (ALOHA OE)”なら“3→1”と入力します。

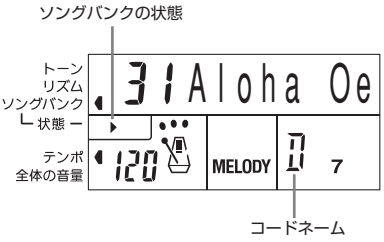
- “31 アロハ・オエ (ALOHA OE)”が選ばれます。

- 本体上のソングバンクリストでは、曲名が省略されています。巻末の「ソングリスト」（42ページ）に全曲が記載されています。

NOTE

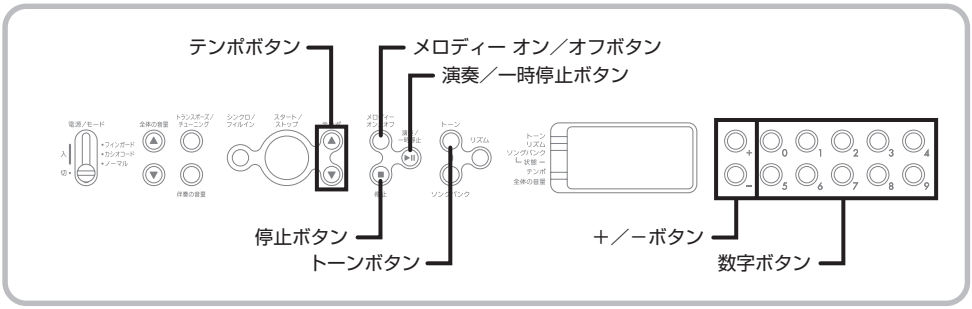
- 電源を入れたときは“00きらきら星(TWINKLE TWINKLE LITTLE STAR)”が選ばれています。
- 曲番号は、＋／－ボタンでも指定できます。

5 演奏／一時停止ボタンを押すと自動演奏が始まります。



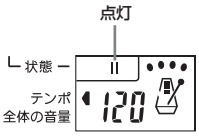
6 停止ボタンを押すと自動演奏が止ります。

自動演奏曲を楽しんでみましょう



曲を一時停止するには

1 曲の演奏中に演奏／一時停止ボタンを押します。



2 もう一度演奏／一時停止ボタンを押すと、自動演奏が再開されます。

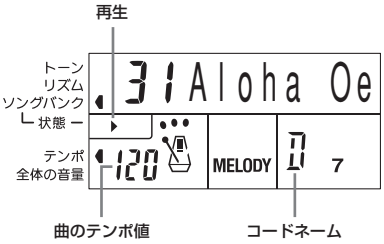
NOTE

- 新しく曲を選ぶと、各曲ごとにあらかじめ設定された音色／テンポ／リズムで演奏されます。音色／テンポのみ自動演奏中に設定を変更することができます。リズムの設定を変更することはできません。
- ソングバンクの曲は伴奏の音量を変更することができます。

液晶表示の見方について

ソングバンク再生時に曲に合わせて各表示が点灯します。

[再生時画面]



曲のテンポを変えるには

操作手順

テンポ（1 分間に演奏される拍数）を 20 ～ 255 の範囲で調節ができます。テンポは曲の停止中、自動演奏中、一時停止中に調節ができます。

1 テンポボタン(▲／▼)で調節します。

▲：数値が増える（速くなる）。
▼：数値が減る（遅くなる）。

NOTE

- テンポボタン（▲／▼）を同時に押すと、現在選ばれている曲にあらかじめ設定されている曲のおすすめのテンポに戻ります。

メロディーの音色を変えるには

本機には 100 種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。メロディーの変更は曲の自動演奏中または、一時停止中に変更ができます。

1 曲を自動演奏しているときにトーンボタンを押します。

2 トーンリストから音色を選び、数字ボタンまたは＋／－ボタンで音色番号を指定します。

例：“30 バイオリン(VIOLIN)”なら、3→0と入力します。

NOTE

- ＋／－ボタンを同時に押すと、“00 ピアノ 1 (PIANO 1)”の音色になります。
- あらかじめ曲に設定されている音色に戻したい場合は、同じ曲を再度選び直してください。

曲の一部を消して、自分で弾くには

曲のメロディーを消して、その部分を自分で弾くことができます。各曲は、メロディーパートと伴奏パートの２つのパートに別れています。

操作手順

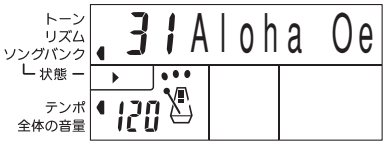
1 25ページの「まず、曲を聴いてみましょう」の操作１～４の手順で、練習したい曲を選びます。

2 メロディー　オン／オフボタンを押して、メロディーパートをオフにします。

- メロディーパートのオン／オフは画面上に“ＭＥＬＯＤＹ”で表示されます。画面上に“MELODY”が表示されている場合、メロディーパートがオンになっていることを意味します。

3 演奏／一時停止ボタンを押して曲をスタートさせます。

- 伴奏パートのみ演奏されます。メロディーパートを弾いてみましょう。

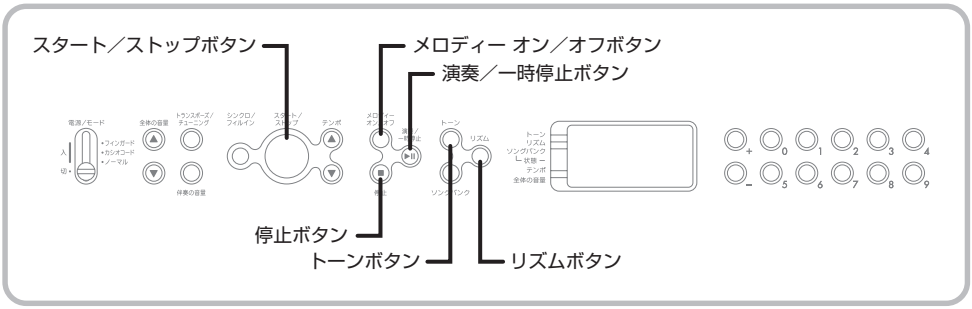


4 演奏を止めるには、停止ボタンを押します。

NOTE

- 自動演奏曲は停止ボタンを押すまで、繰り返し自動演奏されます。

自動演奏曲を楽しんでみましょう



拍手歓声について

ソングバンクモードでメロディーパートを消して曲を自動演奏した場合、曲の演奏が終わると拍手歓声が鳴ります。

拍手歓声を消すには

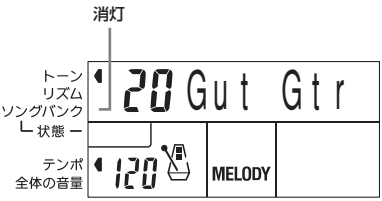
1 停止ボタンとメロディー オン／オフボタンを同時に押します。

- 拍手歓声をオンにするときも同じ操作をしてください。

自動演奏曲を全曲続けて聴くには

1 自動演奏が停止している状態で、トーンボタンまたはリズムボタンを押してソングバンクモード以外のモードにします。

- ソングバンクにドット表示がないことを確認してください。

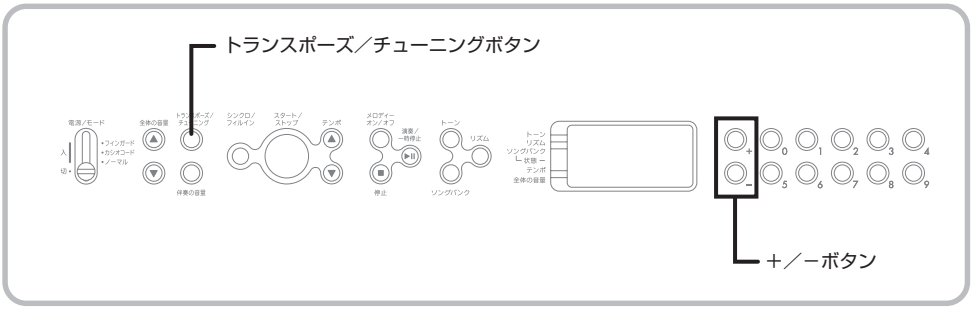


2 演奏／一時停止ボタンを押して、00番の曲から全曲自動演奏します。

3 停止ボタンで自動演奏を停止します。

- 曲を停止ボタンまたはスタート／ストップボタンで一旦停止したあと、自動演奏し直すと、その曲のみ繰り返して自動演奏されます。

設定を変えるには



トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのままで、簡単に音の高さを変えることができます。

操作手順

1 トランスポーズ／チューニングボタンを押してトランスポーズの設定画面にします。

2 ＋／－ボタンでトランスポーズの量を設定します。

例：5半音上にトランスポーズさせる場合。

NOTE

- トランスポーズの設定範囲は－6～＋5です。
- 電源を入れたときは、“0”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、自動伴奏の演奏に反映されます。
- 自動演奏曲を演奏すると“0”になります。

チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

操作手順

1 トランスポーズ／チューニングボタンを２回押します。

2 ＋／－ボタンでチューニングの量を調節します。

例：チューニングを20下げる場合。

NOTE

- チューニングの設定範囲は－50～＋50で、±約50セント※です。
  ※100セント＝半音
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- チューニングの設定は、自動伴奏の演奏にも反映します。
- 自動演奏曲を演奏すると“00”になります。

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	1. 電源が正しくセットされていない。 2. 電源が入っていない。 3. 音量が下がっている。 4. 電源／モードスイッチが“カシオコード”や“フィンガード”の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。	1. ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 2. 電源を入れる。 3. 全体の音量ボタンで音量を上げる。 4. 電源／モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。	☞ 13, 14 ページ ☞ 17 ページ ☞ 17 ページ ☞ 17 ページ
電池で使用していて、下記の状態になった。 • 電源が入らなくなった。 • 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 • 音量が小さくなった。 • 音質が劣化した。 • 大きな音を出すと、時々音が途切れる。 • 大きな音を出すと、突然電源が切れる。 • 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 • 鍵盤を押していないのに音が出続ける。 • 指定の音色とは異なる音を発音する。 • リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。	電池が消耗している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	☞ 13, 14 ページ
自動伴奏の音が鳴らない。	自動伴奏の音量が“0”になっている。	伴奏の音量ボタンで伴奏の音量を上げる。	☞ 24 ページ

現象	原因	解決方法	参照
他の楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が“0”または“00”以外になっている。	トランスポーズ／チューニングボタンでトランスポーズとチューニングの設定を“0”または“00”にする。	☞ 29 ページ
自動演奏曲のメロディーパートの音が出ない。	メロディーパートの表示が消えている。	メロディーオン／オフボタンを押す。	☞ 27 ページ

製品仕様

型式	CTK-240
鍵盤	49鍵　4オクターブ(標準鍵盤)
音色数	100
同時発音数	最大12音(一部音色により最大 6音)
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・リズムコントローラー ・伴奏の音量	 100種類 可変(236段階　♩=20～255) 2種類(カシオコード／フィンガード) スタート／ストップ、シンクロ／フィルイン 0～9(10段階)
ソングバンク機能 ・ソング数 ・コントローラー	 50曲 演奏／一時停止、停止、メロディー オン／オフ
液晶表示機能 ・名称表示 ・テンポ表示 ・コード表示 ・ソングバンク状態表示	 トーン／リズム／ソングバンク名・番号、設定項目名・値 テンポ値、メトロノーム、シンクロ待機、拍 コード名 演奏、一時停止、メロディー オン／オフ
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能 ・全体の音量	 12段階(−6半音 ～ 0 ～ +5半音) 可変‥‥‥A4＝約440Hz±50セント 0～9(10段階)
端子 ・ヘッドホン・アウトプット端子 ・電源端子	 ステレオ標準ジャック(モノラル出力) 出力インピーダンス　78Ω 出力電圧　1.9V (RMS)MAX DC9.5V
電源 ・電池 ・家庭用AC100V電源 ・オートパワーオフ機能	2電源方式 単3形マンガン乾電池または単3形アルカリ乾電池6本使用 電池持続時間：約6時間　マンガン乾電池使用時 ACアダプターAD-E95100LJを使用 約6分後
スピーカー出力	Ø10cm×2 (1.6W+1.6W)
消費電力	9.5V ⎓ 5.0W
サイズ	幅91.4×奥行き23.7×高さ7.5 cm
質量	約2.8kg(電池含まず)
付属品	譜面立て、ACアダプター(AD-E95100LJ)、取扱説明書(本書)、保証書、楽譜集

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
イス	CB-5
	CB-7
	CB-30
スタンド	CS-2X

カシオ電子楽器取扱店で購入可能。

● 別売品の内容は、予告なく変更されることがあります。詳しくは店頭のカシオ電子キーボードカタログをご覧ください。
http://casio.jp/emi/catalogue/

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所
- 極端に温度の低い場所
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）

■ 本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ 付属の AC アダプターについて

- 本ACアダプターは、使用する機器の近くにあるコンセントに差込んで使用してください。不具合が生じた時には、コンセントから直ちに取り外せるようにしてください。
- 本ACアダプターは、屋内専用です。水滴のかかる場所には置かないでください。また、水の入った花瓶などを本 AC アダプターの上にのせないでください。
- 本ACアダプターは、湿気のないところで保管してください。
- 本ACアダプターは、広々とした換気のよいところでお使いください。
- 本 AC アダプターを、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどで覆わないようにしてください。
- 使用する機器を長い間使用しない時には、本 AC アダプターをコンセントから外してください。
- 本 AC アダプターは、修理することができません。
- 本 AC アダプターの使用環境：
  温度 0～40℃
  湿度 10%～90%RH
- 出力形式：

■ ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● **保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理サービス窓口」が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。

● **保証期間が過ぎているときは**

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内の「修理サービス窓口」にご依頼ください。

■ アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

資料

音色別発音域表

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
00	12	A
01	12	A
02	6	A
03	6	A
04	12	A
05	12	A
06	6	A
07	6	A
08	12	A
09	12	A

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
10	12	A
11	12	A
12	12	A
13	6	A
14	12	A
15	6	A
16	12	A
17	6	A
18	12	A
19	12	A

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
20	12	A
21	12	A
22	12	A
23	12	A
24	12	A
25	12	A
26	12	B
27	12	B
28	12	B
29	12	A

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
30	12	A
31	12	B
32	12	A
33	12	A
34	12	A
35	6	A
36	12	A
37	6	A
38	12	A
39	12	A

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
40	12	A
41	12	B
42	6	A
43	12	B
44	6	B
45	12	B
46	6	B
47	12	B
48	6	B
49	6	B

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
50	12	A
51	12	A
52	12	A
53	12	A
54	12	A
55	12	C
56	12	A
57	12	A
58	12	A
59	12	A

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
60	12	A
61	6	A
62	12	A
63	6	A
64	6	A
65	6	A
66	6	A
67	6	A
68	6	A
69	12	B

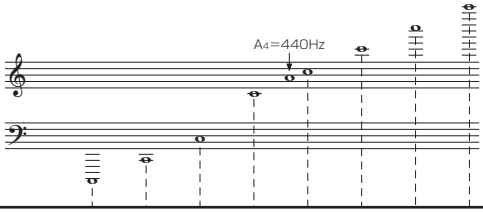
音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
70	6	A
71	6	A
72	6	A
73	6	A
74	12	B
75	12	D
76	6	A
77	6	D
78	12	D
79	6	D

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
80	6	A
81	6	A
82	6	A
83	6	A
84	6	A
85	6	A
86	6	B
87	6	A
88	6	A
89	6	A

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ
90	12	E
91	6	E
92	12	E
93	12	E
94	12	E
95	12	E
96	12	E
97	12	A
98	12	A
99	12	D

NOTE

- 音域のタイプ（A～E）は次の表を参照してください。



音域のタイプ	C-1 C0 A0C1 A1C2 A2C3 C4 C5 C6 C7 C8 C9 G9
A （標準タイプ）	
B （低域楽器）	
C （"55 PICCOLO" のみ）	
D （サウンドエフェクト）	音階のない音色
E （スプリット）	音色により音域が異なります。

……鍵盤演奏時の音域

トーンリスト

ピアノ／オルガン	
00	ピアノ１
01	ピアノ２
02	ホンキートンク
03	スタジオピアノ
04	エレクトリックピアノ１
05	エレクトリックピアノ２
06	エレクトリックピアノ３
07	エレクトリックピアノ４
08	ハープシコード
09	クラブエレクトロ
10	エレクトリックオルガン１
11	エレクトリックオルガン２
12	エレクトリックオルガン３
13	エレクトリックオルガン４
14	チャーチオルガン
15	パイプオルガン
16	リードオルガン
17	アコーディオン
18	バンドネオン
19	ハーモニカ
ギター／ベース／ストリングス	
20	ナイロン（ガット）弦ギター
21	アコースティックギター
22	ジャズギター
23	エレクトリックギター
24	ミュートギター
25	ディストーションギター
26	ウッドベース
27	エレクトリックベース
28	スラップベース
29	バンジョー
30	バイオリン
31	チェロ
32	ハープ
33	ストリングス１
34	ストリングス２
35	ストリングス３
36	シンセストリングス１
37	シンセストリングス２
38	クワイア
39	ボイス
ブラス／リード／パイプ	
40	トランペット
41	チューバ
42	ブラスアンサンブル
43	フレンチホルン１
44	フレンチホルン２
45	ブラス１
46	ブラス２
47	シンセブラス１
48	シンセブラス２
49	シンセブラス３
50	ソプラノサックス
51	アルトサックス
52	テナーサックス
53	オーボエ
54	クラリネット
55	ピッコロ
56	フルート
57	リコーダー
58	パンフルート
59	ホイッスル
シンセサウンド	
60	シンセリード１
61	シンセリード２
62	シンセリード３
63	シンセカリオペ
64	シンセパッド１
65	シンセパッド２
66	シンセパッド３
67	グラスハーモニカ
68	カントリーファーム
69	シンセベース
70	パールドロップ
71	コズミックサウンド
72	サウンドトラック
73	スペースパッド
74	ボイスベース
75	アプローズ
76	シンセ SFX
77	乗り物
78	テレホン
79	ファニー
レイヤー／パーカッション	
80	ストリングスピアノ
81	ストリングスエレピ
82	クワイアエレピ
83	クワイアオルガン
84	ストリングスギター
85	ストリングスハープ
86	ブラスストリングス
87	バイブパッド
88	12 弦ギター
89	クワイアストリングス
90	ベース／ピアノ
91	ベース／エレピ
92	ベース／バイブ
93	ベース／ナイロン弦ギター
94	ボイスベース／ボイス
95	ストリングス／ピアノ
96	ストリングス／トランペット
97	ビブラフォン
98	マリンバ
99	パーカッション

リズムリスト

ポップス I	
00	ポップス 1
01	ポップス 2
02	ラップポップ
03	ファンキーポップ 1
04	ソウルバラード
05	ポップバラード
06	バラード 1
07	ファンキーポップ 2
08	バラード 2
09	ポップス 3
ポップス II	
10	16 ビート 1
11	16 ビート 2
12	16 ビート 3
13	8 ビート 1
14	8 ビート 2
15	8 ビート 3
16	ダンスポップ 1
17	ダンスポップ 2
18	ポップフュージョン
19	フォーキーポップ
ロック I	
20	ロックワルツ
21	スローロック 1
22	スローロック 2
23	ソフトロック 1
24	ソフトロック 2
25	ソフトロック 3
26	ポップロック 1
27	ポップロック 2
28	50' S ロック
29	60' S ソウル
ロック II	
30	ロック 1
31	ロック 2
32	ロック 3
33	ロック 4
34	ロック 5
35	ヘビーメタル
36	ツイスト
37	ニューオリンズロック
38	シカゴブルース
39	リズム＆ブルース
ジャズ／フュージョン	
40	ビッグバンド
41	スロースイング
42	スイング
43	フォックストロット
44	ジャズワルツ
45	モダンジャズ
46	クール
47	ハードバップ
48	アシッドジャズ
49	ラテンフュージョン
ダンス／ファンク	
50	グルーブ
51	レイブ
52	クラブグルーブ
53	テクノ
54	トランス
55	ハウス
56	グルーブソウル
57	ディスコ
58	ラップ
59	ファンク
ヨーロピアン	
60	ポルカ 1
61	ポルカ 2
62	マーチ 1
63	マーチ 2
64	ワルツ 1
65	ワルツ 2
66	ワルツ 3
67	スローワルツ
68	セレナード
69	タンゴ 1
ラテン I	
70	ボサノバ
71	サンバ
72	マンボ
73	ルンバ
74	チャチャチャ
75	メレンゲ
76	レゲエ
77	ボレロ
78	タンゴ 2
79	ランバダ
ラテン II／その他 I	
80	プンタ
81	クンビア
82	スカ
83	テックスメックス
84	サルサ
85	フォルクローレ
86	パソドブレ
87	ルンバカタラナ
88	セビリャナ
89	フォーク
その他 II	
90	カントリー
91	ブルーグラス
92	タウンシップ
93	ゴスペル 1
94	ゴスペル 2
95	アダニ
96	バラディ
97	バロック
98	演歌
99	ニューエイジ

フィンガードコード一覧表

よく使われるコードの各キーでの左手の押さえ方です（転回形も含まれています）。

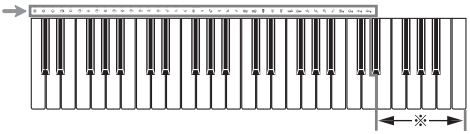
コード種 / ルート	メジャー	m（マイナー）	7（セブンス）	m7（マイナーセブンス）	dim7（ディミニッシュセブンス）	M7（メジャーセブンス）	m7♭5（マイナーセブンスフラットファイブ）	dim（ディミニッシュ）
C								
C♯ (D♭)								
D								
E♭ (D♯)								
E								
F								
F♯ (G♭)								
G								
A♭ (G♯)								
A					※			
B♭ (A♯)					※			
B					※			

※ 伴奏鍵盤の範囲の関係でフィンガードでは指定できません。

コード種 / ルート	aug（オーギュメント）	sus4（サスフォー）	7 sus4（セブンスサスフォー）	m add9（マイナーアドナインス）	m M7（マイナーメジャーセブンス）	7♭5（セブンスフラットファイブ）	add9（アドナインス）
C							
C♯ (D♭)							
D							
E♭ (D♯)							
E							
F							
F♯ (G♭)							
G							
A♭ (G♯)							
A							
B♭ (A♯)	※						
B	※						

ドラム音色リスト

本機で“99　パーカッション”の音色を選ぶと、下図の打楽器音が割り当てられます（鍵盤上側の打楽器イラスト参照）。



※ この範囲は、鍵盤を押しても音は鳴りません。

バスドラム	クラッシュシンバル　1	ミュート　ハイ　コンガ
サイドスティック	ハイ　タム　1	オープン　ハイ　コンガ
アコースティック　スネア	ライドシンバル　1	ロー　コンガ
ハンドクラップ	チャイニーズシンバル	ハイ　ティンバレス
エレクトリック　スネア	ライドベル	ロー　ティンバレス
ロー　タム　2	タンバリン	ハイ　アゴゴ
クローズド　ハイハット	スプラッシュシンバル	ロー　アゴゴ
ロー　タム　1	カウベル	カバサ
ペダル　ハイハット	クラッシュシンバル　2	マラカス
ミドル　タム　2	クラベス	ボイス　バスドラム
オープン　ハイハット	ライドシンバル　2	ボイス　スネア
ミドル　タム　1	ハイ　ボンゴ	ボイス　クローズドハイハット
ハイ　タム　2	ロー　ボンゴ	ボイス　オープンハイハット

ソングリスト

ソングバンク

00	きらきら星
01	大きな古時計
02	聖者の行進
03	おめでとうクリスマス
04	ジングル・ベル
05	きよしこの夜
06	もみの木
07	グリーンスリーブス
08	アメイジング・グレイス
09	ほたるの光
10	かわいいオーガスチン
11	ロンドン橋
12	クラリネットをこわしちゃった
13	アビニョンの橋で
14	線路は続くよどこまでも
15	茶色の小びん
16	ロング・ロング・アゴー
17	森のくまさん
18	大きな栗の木の下で
19	ぶんぶんぶん
20	ダニ-･ ボーイ
21	愛しのクレメンタイン
22	朝日のあたる家
23	オーラ・リー
24	ジョニーが凱旋する時
25	スワニー河（故郷の人々）
26	アルプス一万尺
27	峠の我が家
28	おお　スザンナ
29	夢路より
30	わらの中の七面鳥
31	アロハ・オエ
32	さらばジャマイカ
33	ラ・クカラチャ
34	ラ・パロマ
35	トロイカ
36	森へ行きましょう
37	ワルツィング・マチルダ
38	アイヨママ
39	ラササヤン
40	喜びの歌
41	婚礼の合唱「ローエングリン」より
42	G 線上のアリア
43	情景「白鳥の湖」より
44	行進曲「くるみ割り人形」より
45	凱旋行進曲　歌劇「アイーダ」より
46	おもちゃの交響曲
47	セレナード 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
48	闘牛士の歌　組曲「カルメン」より
49	春「四季」より

CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

O MA1307-C　Printed in China
CTK240JA1C